下和泉地域ケアプラザだより

≪第178号≫

地域ケアプラザは、介護や生活の困りごとの総合相談窓口です。
ご相談の際は、事前にご連絡いただけると助かります。
窓口でのご相談は、9時～18時の間で対応します。(日・祝は17時まで)
第4月曜日は、休館日です。

イメージキャラクター　しもずく

新年のご挨拶申し上げます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
令和５年は新型コロナが５類となり、地域での様々な行事や活動が再開され、人とのつながりの大切さを改めて感じる一年でありました。
今年は辰年で、空を昇る龍の姿は昔から縁起の良いものとされています。地域の皆様と一緒に、龍の如く躍動の年となるよう、職員一同努めてまいります。

所長　梶山辰吉

令和６年もよろしくお願いいたします。

ケアプラザ職員一同

ケアプラザは年始1/4～開館しています。

空調設備更新工事について

ケアプラザのエアコンの使用ができるようになりました。活動の際には、ご利用ください。
皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

ケアプラザ自販機をご存知ですか？

自販機の売上の一部は赤い羽根共同募金に寄付されます。お寄せいただいた寄付は泉区の福祉活動に還元されます。

「カンピロバクター食中毒に注意！」

寒くなってくると、ウィルス性の胃腸炎（ノロウィルスやロタウィルス）が流行りますが、最近、肉の過熱不足でのウェルシュ菌食中毒やリンゴ園でのO-157食中毒のニュースがありました。

カンピロバクター食中毒は、わが国で発生している細菌性食中毒の中で、近年、発生件数が最も多く、年間300件、患者数2,000人程度で推移しています。

クリスマスなど鶏肉を食べる機会の多い時期ですが、原因食品としては、例えば、鶏レバーやささみなどの刺身、鶏肉の半生製品、主に鶏肉の加熱不足などが原因です。

症状については、下痢、腹痛、発熱、悪心、嘔気、嘔吐、頭痛、悪寒、倦怠感などであり、他の感染型細菌性食中毒と酷似します。多くの患者は１週間ほどで治癒します。

まずは、食肉を十分に加熱調理（中心部を75°C以上で１分間以上加熱）することが重要です。また、二次汚染防止のために、なるべく食肉は他の食品と調理器具や容器を分けて処理や保存を行うこと、食肉を取り扱った後は十分に手を洗ってから他の食品を取り扱うこと、食肉に触れた調理器具等は使用後洗浄・殺菌（熱湯をかけるなど）を行うことが重要です。

文責：ケアプラザ看護師　長谷部

健康相談のご案内

毎月 第1・4金曜日

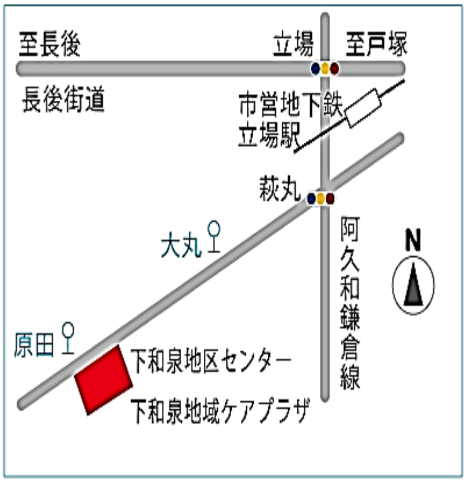
時間 13時～14時

場所 下和泉地域ケアプラザ　地域ケアルーム

柏木医院　院長
柏木　昭人　先生

上記の時間で気軽に、ご家族やご自分の健康について気軽に相談ができます。予約制ではないので、お待ちの方がいる場合は、短時間になります。

問い合わせ先：下和泉地域ケアプラザ　長谷部(045-802-9920)



下和泉地域ケアプラザだより〈第１７８号〉

発行日：令和５年１２月２２日

発　行：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会
横浜市下和泉地域ケアプラザ

責任者：所長　梶山 辰吉

連絡先：泉区和泉が丘１－２６－１

ＴＥＬ：０４５－８０２－９９２０

ＦＡＸ：０４５－８０２－９９２７

HP　X(旧Twitter)　メール

■本誌に記載されている講座等に申込された方の氏名や電話番号などの個人情報は、該当の講座にのみ使用され、目的外に使用されることはありません。